

都市再生整備計画

にしきょうごく だい き
西京極地区(第2期)

きょうとふきょうとし
京都府京都市

(第1回変更)
令和7年10月

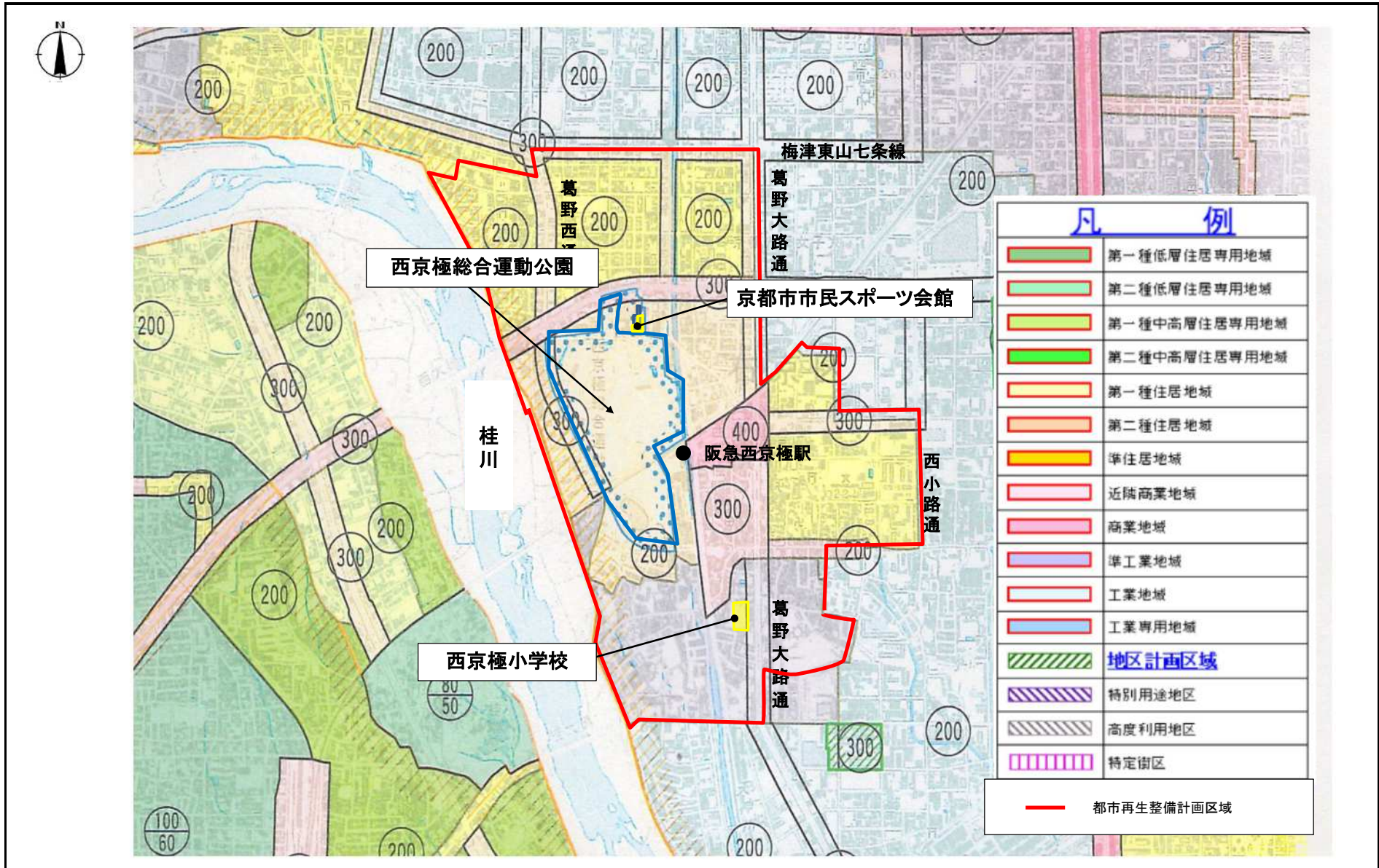
事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都道府県名	京都府	市町村名	京都市	地区名	西京極地区(第2期)	面積	167 ha
計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度	交付期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度				

<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・レクリエーション拠点の機能の充実、及び、周辺住民も安心して集い、賑わいが創出できる拠点を充実させることによる、まちの魅力向上や安心・快適な住居環境の形成 ・子ども・子育て支援環境の充実による、子どもや子育て家庭に配慮したまちづくりの推進
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <p>○これまでの「保全・再生・創造」の土地利用を基本とし、「京都市都市計画マスタープラン」の考え方を踏まえ、市内各地域それぞれの関係性なども考慮しながら、市内全体を5つのエリア(広域拠点エリア、地域中核拠点エリア、日常生活エリア、ものづくり産業集積エリア、緑豊かなエリア)に分類し、各エリアの将来像を市民・事業者・行政が共有してまちづくりを進めている。</p> <p>○中でも、地域中核拠点エリアは定住人口の求心力として位置づけ、子育て期をはじめ、それぞれのライフステージに応じた必要な都市機能の効率的な利用を図ることとしている。子育てについては、「京都市はぐくみプラン(京都市子ども・若者総合計画)」に基づき、京都で育ち合い、学び合った子どもや若者が将来の展望を持って成長するとともに、京都に住み、働く人が幸せと希望を感じ、暮らし続けたいと思えるまちを実現するとしている。</p> <p>○さらに令和5年度には、都市計画マスタープランに掲げた課題への対応や将来像の実現に向け、暮らしの豊かさや利便性につながる都市機能を集積・充実させるとともに、若年・子育て世代が「京都で住みたい、学びたい、働きたい、子育てしたい」とより一層思える魅力的な空間の創出を図っていくため、都市計画の見直しを行った。</p> <p><(参考)京都市持続可能な都市構築プラン></p> <p>○また、平成29年に、公共施設等総合管理計画に基づく施設類型別計画にあたる「京都市庁舎施設マネジメント計画」を策定した。庁舎施設における取組の基本的な考え方として、防災機能の向上、官民の良好な役割分担による効率的・効果的なマネジメントの展開、地球温暖化対策や省エネルギーなど環境への配慮等を進めることとしている。</p> <p>○さらには、脱炭素社会を目指し、あらゆる主体と覚悟を持って気候危機に立ち向かうことを決意するため、平成16年12月に策定した「京都市地球温暖化対策条例」を令和2年12月に条例を改正し、新たに掲げた温室効果ガス削減目標の着実な達成を目指し、「京都市地球温暖化対策計画(2021-2030)」を策定した。計画の中で、本市の役割として、公共施設等における再生可能エネルギーの利用など、温室効果ガス排出削減に向け、率先して取り組むとしている。</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>○今回の計画区域である西京極地区は、地域中核拠点エリアとして位置づけられており、西京極総合運動公園や阪急西京極駅を中心として、工場やオフィスの集積とともに、良質な住宅や生活に身近な商業施設などが充実し、人々が緑やスポーツに親しみながら快適に暮らし、働くことのできる都市空間が形成されている。</p> <p>○令和5年度の都市計画の見直しにおいて、西京極地区周辺は「未来を支える若い世代の市内居住ニーズを受け止め、ものづくりと調和しながら環境負荷にも配慮したサステナブルなまち」を目指し、建築物の高さ規制等が緩和されたこともあり、特に子育て世代の増加に対する環境整備が必要な状況となっている。</p> <p>○地区の中心となる西京極総合運動公園は、府内唯一の第1種公認陸上競技場である「陸上競技場兼球技場」、府内最大規模のスタンド席を持つ野球場「わかさスタジアム京都」、府内唯一の屋内50m国際公認プール「京都アクアリーナ」等のほか、公園に隣接して、京都ハンナリーズのホームアリーナである「京都市体育館」等、府内随一の規模を誇るスポーツ施設が集積しており、全国高校駅伝など全国規模の大会も開催されているほか、世界規模の大会としても、令和9年度にはワールドマスターズゲームズ2027関西の開催が予定されている。</p> <p>○このような施設を利用した大きなスポーツ大会が開催されるだけでなく、特に近隣住民の憩いの場として広く利用されているが、スポーツ利用が主となり、大会利用の無い平日等については、賑わいに乏しい状況となっている。</p> <p>○また、公園施設やスポーツ施設は、整備後相当期間が経過し、現在の基準との乖離やニーズに適合しないもののほか、環境への対応が不十分なものがでてきている。</p> <p>○なお、西京極総合運動公園は、京都市地域防災計画において、広域避難場所に位置づけられているほか、地域内輸送拠点として臨時的に活用する候補地に位置づけられているほか、公園内の京都アクアリーナには拠点備蓄倉庫が設置され、食料等応急救助用備蓄物資が保管されている。そのほか、市民スポーツ会館は指定避難所及び指定緊急避難場所(水害)に位置づけられている。</p> <p>課題</p> <p>○スポーツ拠点としての機能向上のため、公園施設やスポーツ施設について、特定天井対策やバリアフリー対応等、現在の基準やニーズに対応するよう、施設の再整備を行うとともに、子育て環境の充実や多目的な活用により、新たな賑わいを創出できるよう整備し、まちの魅力向上を図る必要がある。</p> <p>○防災上重要な施設を健全な状態に保つとともに、必要となる設備等の整備を行い、市民が安心・安全に暮らすことのできる都市の形成を行う。</p> <p>○子ども・若者から高齢者まで、安心・安全に、また、誰もが集い、交流し、活力のあるまちとしての機能を強化するには、PFI手法により民間のノウハウ・技術力を最大限活用するなど、効果的・効率的な事業推進を図り、整備していく必要がある。</p> <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>○「はばだけ未来へ! 京プラン2025(京都市基本計画)」…人生100年時代を見据え、スポーツを通して、健康で心豊かなくらし、人と人とのつながり、まちの魅力向上をめざす、とされている。</p> <p>○「京都市都市計画マスタープラン」…西京極駅を中心に「工場やオフィスの集積とともに、良質な住宅や生活に身近な商業施設などが充実し、人々が緑やスポーツに親しみながら快適に暮らし、働くことのできる都市空間が形成されている」とされている。</p> <p>○「京都市市民スポーツ振興計画」…「スポーツの絆が生きるまち」の実現に向け、「する・みる・支える」の観点から、施設の整備や競技環境の充実等を行い、スポーツに親しめる環境づくりを推進することとしている。</p> <p>○「京都市庁舎施設マネジメント計画(公共施設等総合管理計画に基づく施設類型別計画)」…「上質で価値の高い公共施設の構築による京都のまちの活性化や市民生活の質の向上等の実現」のために、官と民の良好な役割分担による効率的・効果的なマネジメントを展開することとしている。</p> <p>○「行財政改革計画」…西京極総合運動公園は築20年以上となる主な大規模施設として挙げられている他、「民間活力の活用、民営化のさらなる推進」として「PFI、Park-PFI等、多様な公民連携手法、資金調達手法を用いた効果的・効率的な事業推進」を図ることとしている。</p> <p>○「京都市地域防災計画」…西京極総合運動公園は、広域避難場所に位置づけられているほか、地域内輸送拠点として臨時的に活用する候補地に位置づけられている。また、公園内の京都アクアリーナには拠点備蓄倉庫が設置され、食料等応急救助用備蓄物資が保管されている。そのほか、市民スポーツ会館は指定避難所及び指定緊急避難場所(水害)に位置づけられている。</p> <p>○「京都市はぐくみプラン(京都市子ども・若者総合計画)」…計画は令和6年度までとなっており、この計画を踏まえて「市町村子ども計画」を策定予定。現行計画においては、子育て家庭の生活の安定や子ども・若者の健やかな成長に資するよう、公園の整備を行うとしている。</p>

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 公園施設やスポーツ施設について、バリアフリー対応等、現在の基準やニーズに対応するよう、施設の再整備を行うとともに、スポーツ利用やその他多目的な活用により、新たな賑わいを創出できるよう施設や誘導サインを整備し、まちの魅力向上を図る。 整備に当たっては、PFI手法により民間のノウハウ・技術力を最大限活用するなど、効果的・効率的な事業推進を図る。</p>	<p>【基幹事業】 ○公園(西京極総合運動公園／陸上競技場兼球技場・野球場・京都アクアリーナ・駐車場) ○地域生活基盤施設(地域防災施設／京都市市民スポーツ会館の非常用発電設備等の整備) ○地域生活基盤施設(情報板／誘導サイン整備) ○高質空間形成施設(公衆トイレの改修(バリアフリー))</p> <p>【提案事業】 ○事業活用調査(PFI事業実施のための公園施設の利用促進・活用のための調査、利用調査及びアンケート調査)</p>
<p>整備方針2 特定天井対策等により、防災上重要な施設を健全な状態に保つとともに、必要となる設備や誘導サインを整備し、市民が安心・安全に暮らすことのできる都市の形成を行う。 整備に当たっては、PFI手法により民間のノウハウ・技術力を最大限活用するなど、効果的・効率的な事業推進を図る。</p>	<p>【基幹事業】 ○公園(西京極総合運動公園／陸上競技場兼球技場・野球場・京都アクアリーナ) ○地域生活基盤施設(地域防災施設／京都市市民スポーツ会館の非常用発電設備等の整備) ○地域生活基盤施設(情報板／誘導サイン整備)</p>
<p>整備方針3 省エネルギー化等により、地球温暖化対策を行い、脱炭素社会の構築に向けて整備する。 整備に当たっては、PFI手法により民間のノウハウ・技術力を最大限活用するなど、効果的・効率的な事業推進を図る。</p>	<p>【基幹事業】 ○公園(西京極総合運動公園／陸上競技場兼球技場・野球場・京都アクアリーナ) ○地域生活基盤施設(地域防災施設／京都市市民スポーツ会館の非常用発電設備等の整備) ○高質空間形成施設(公衆トイレの改修(バリアフリー))</p>
<p>その他</p>	

<p>西京極地区(第2期)(京都府京都市)</p>	<p>面積</p>	<p>167 ha</p>	<p>区域 京都市右京区 西京極(堤町、町ノ坪町、宮ノ裏町、裏町、畑田町、中町、北裏町、南方町、西川町、芝ノ下町、東向河原町、堤外町、東側町、藪開町、火打畑町、走上町、長町、西向河原町、藪ノ下町、末広町、河原町、西団子田町、徳大寺団子田町、都沢町、都龍蘭田町、郡猪馬場町、郡附洲町、橋詰町、北衣手町、西衣手町、東衣手町、南衣手町、午塚町、郡町、北大入町、南大入町、葛野町、浜ノ本町、新田町、新明町、野田町、西大丸町、西池田町、東池田町、及び畔勝町、三反田町、大門町、中沢町、前田町、堤下町の一部、西院西田町</p>
---------------------------	-----------	---------------	---



西京極地区(京都府京都市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	・スポーツ・レクリエーション拠点の機能の充実、及び、周辺住民も安心して集い、賑わいが創出できる拠点を充実させることによる、まちの魅力向上や安心・快適な住居環境の形成	代表的な指標	公園利用者 (人・年)	193万人 (R6年度)	→	235万人 (R11年度)
	・子ども・子育て支援環境の充実による、子どもや子育て家庭に配慮したまちづくりの推進		利用者アンケート調査 (%)	46% (R6年度)	→	53% (R11年度)
	園内での子ども対象イベントの開催回数 (回)		160件 (R5年度)	→	168件 (R11年度)	

